



SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・就業規則、各種規程等に、左記のような区分を設けず、あらゆる雇用条件で差別がない体制を構築し、委員会、内部監査等でレビューしている また、誰でも申し出、相談ができる相談窓口を社内外に設置している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントの禁止を就業規則に明記している ・ハラスメント研修の実施、相談窓口を社内外に設置 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済み					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・36協定の限度時間を、以前から働き方改革関連法の上限規制値より低い時間としている ・年次有給休暇の取得目標を最低10日以上とし、取得促進に取り組んでいる ・コアタイムのないフレックス勤務制度など、多様な働き方に対応できる勤務体制を整備している									8.5 8.8								
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・外国人技能実習制度にて技能実習生を受け入れており、適切な処遇や労働環境の整備を行っている ・海外生産拠点からの実習生受け入れを行い人材交流を図り友好的な関係を築いている				4.4					8.7 8.8		10.2 10.3						
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・リスクアセスメントにより危険有害要因を特定し、リスク低減活動を行っている ・JISHA方式の労働安全衛生マネジメントシステムの運用を行っており中央労働災害防止協会の認定を得ている			3						8								
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関し、退職からの職場復帰支援プログラムを策定し、復職前からの支援、復職時の業務内容配慮、短時間勤務制度による復職等を実施している ・労働安全衛生コンサルタントと契約し、高ストレス者等のフォローを実施している ・医療職を雇用し、いつでも健康相談ができる体制を作っている			3														
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・社員の女性比率が低いと、女性の採用比率目標を定め採用活動を行っている ・障がい者雇用率目標を3%以上とし、積極的な採用活動を行っている ・高齢者、女性などが働きやすい環境を整備している（腰を曲げる作業の排除、重量物運搬時のアシストツール導入等） ・派遣社員、アルバイトからの期間社員登用、期間社員からの正社員登用制度を設け、キャリアアップ支援を行っている					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施している（階層別教育、職種別教育、職場内教育、分野別教育、自己啓発）				4	5.5				8	9							
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・職場いきいきアドバンスカンパニー認証を取得済み ・雇用形態によらず、同一労働同一賃金の原則に沿った体制を整備している					5.5				8.5		10.2 10.3						
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・ホームページに健康宣言を公開している ・健康経営優良法人2020（経済産業省）の認定を受けている			3						8								

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001(2015年規格)の認証を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・ホームページにて開示している												12.6						
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・コージェネレーションシステムの施設を設置し稼働している ・太陽光発電装置を設置し稼働している								7.2						13				
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15			
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・グループの贈収賄防止グローバルポリシーに基づき、贈収賄防止規程、接待・贈答対応要領を定め運用している ・贈収賄防止に関するeラーニングを定期的実施している																	16	16.5
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・社員行動指針に掲げ、社員に周知している ・独禁法に関するルール、体制等を定め遵守している ・独禁法の定期的な教育を実施している																		16
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・開発製品が他社の知的財産への抵触が無い事を確認するプロセスを設け、漏れなく実施されていることを確認している									8.2	8.3	9							
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・特定個人情報基本方針規程、個人番号及び特定個人情報取扱規程を定め、適切に管理している																		16
	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・紛争鉱物調査を毎年実施し、取り扱っていないことを確認している																		16
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・グループのグリーン調達ガイドラインに基づき、禁止物質を制限した調達を行い生物多様性や生態系への悪影響防止に取り組んでいる ・サプライヤーと反社会的勢力の排除等倫理面の適切な対応に取り組んでいる					5				8			10	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・新製品開発において製品開発要領を定め、製品、サービスの安全性に対する審議、リスク分析、対策処置を行い、人に危害が加わらない設計を行っている ・製品取扱い時の安全性を踏まえた取扱い説明書、据付工事要領書を作成している			3.9									12.4						
	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・新製品開発において製品開発要領を定め、製品の品質を確保した上でないと出荷できない体制を構築している ・顧客からのクレーム情報を迅速に共有する仕組みを構築し、次期モデルの設計に反映している									8.2	9								
	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・グループ環境目標に基づき定めた環境行動計画に製品の軽量化目標を盛り込み、搭載する車両の省エネに貢献する取り組みを行っている ・製品の製造から使用、廃却までトータルの環境負荷目標を設定して、より省エネ性が高い製品の開発・設計を実施している ・設備導入について環境影響評価を実施し、基準に則った設備導入を行っている ・部品の購入など、通箱等使用によるゼロエミッション活動に取り組んでいる						6.3		8.4				12.4	13.3	14.1	15.2			
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・オゾン破壊係数および地球温暖化係数が低いR1234yf冷媒を使用した製品の開発を行っている ・消費電力を低減できる沸騰冷却原理を活用した空調機の開発を行っている						6.3	7.2	7.3	8.4	9.4		11.6	12.2	12.4	13.3			

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
																													
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域との対話、見学会を実施し、地域の声を聴く場を設け改善を実施している ・電話等で寄せられる社外苦情件数、内容を経営層に報告し改善を実施している					4							9			11	12			14	15			17		
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・継続的な寄付活動を実施している ・会社周辺の清掃、地域の河川清掃、外来植物の駆除等自然環境保護のボランティア活動を継続的にしている ・会社敷地内の庭園、グラウンドを一般に開放し活用してもらっている					4											11					14	15			17
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ														8	9			11	12	13						
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を策定し、社員に周知している ・中長期事業構想を掲げ、社員に周知している ・年度事業方針を掲げ、社員に周知している													8	9										17	
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・グループ社員行動指針を冊子にし、社員へ配布している ・全社リスク管理規程を定め、法令違反は信用を失墜させるリスクであることを教育し、遵守体制を構築している ・開発製品が法令に適合していることを確認するプロセスを設けている																			12.4	13.3				16	
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・社長を委員長とするCSR委員会を設置し、CSRおよびSDGsに関する取組を行っている ・SDGsについては、サステナビリティリーダーを任命している																								16	
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー()との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・株主総会を通じて、業績等を報告し要望事項を活動に反映している ・顧客満足度調査を実施し、結果を社内関係部門にフィードバックしている ・サプライヤーの声を聞く場を設け、情報展開、要望等の収集を行っている ・従業員の職場環境、ストレスレベルの調査を行い改善を図っている ・地域との対話、見学会を実施し、地域の声を聴く場を設け改善を実施している																							16	17	
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスク管理項目および経営に影響を与える問題を特定し、リスクが顕在化した際の対応手順および特定されたリスクの未然防止活動を全社リスク管理規程に定めて運用し、マネジメントレビューを行っている																								16	
40	□	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・グループサステナビリティ方針の下、CSR活動規程に基づき、安全・品質・人権・労働・環境、コンプライアンス、情報開示、社会貢献等の取組みを推進している																								16	
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事業継続計画(Business Continuity Plan)を策定し、訓練を行い不測の事態に備えている															9			11		13	13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・サクセッションプラン(後継者育成計画)を作成し、計画的な人材育成を進めている														8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
【自然環境保全】 ・自然環境保全、地球温暖化防止		・ヒノキを14,000本植林し、社員が下草刈り、枝打ち等手入れを行い、自然環境の保全、CO2の吸収等に取り組んでいる																										

【記載留意事項】